

陶磁器釉薬技術研究会

【目的】

笠間焼産地では、釉薬の理論を学ぶ機会が少ないという現状があり、とくに若手陶芸家から、釉薬の基本を短時間・短期間で学びたいという相談が多くあります。そこで、平成 27 年度に本研究会を起ち上げ、釉薬の開発や改良に必要な基礎知識を学んで頂くための勉強会を開催しています。

【内容】

平成 28 年度は表 1 のとおり勉強会を 6 回開催しました。会員 14 名からは、「新たな知識を作陶に活かしたい」、「釉薬のトラブルへの対処方法を実践したい」、「理解困難に思えた理論が整理できた」、「釉薬の試験方法を理解できたので挑戦したい」など、釉薬の新規開発や欠点改善に繋がることを期待させる感想が多く寄せられました。

表 1 勉強会日程とテーマ

回	日程	テーマ
1	6/17 (金)	釉薬調合の基本, 釉薬原料の分類と役割, 三角座標
2	7/ 8 (金)	釉薬を学ぶために必要な化学基礎知識
3	8/ 4 (木)	ゼーゲル式及びゼーゲル座標の見方・考え方
4	8/25 (木)	ゼーゲル計算 1 (原料配合比からゼーゲル式を算出)
5	9/ 1 (木)	ゼーゲル計算 2 (ゼーゲル式から原料配合比を算出)
6	9/21 (水)	素地物性と試験方法, 釉薬欠陥の原因と対処方法



図 1 勉強会の様子

【今後の予定】

来年度も同様の内容で研究会（勉強会）を開催する予定です。本研究会よりも本格的に釉薬の知識、技術を習得したい方を対象とした研修（レディメイドコース、オーダーメイドコース（p. 42 参照））も行っております。釉薬に関して悩みのある方は、まずは気軽にご相談下さい。

基礎となった事業

平成 28 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

工芸・材料技術部門 部門長 寺門 秀人 TEL: 0296-72-0316
 首席研究員 小島 均
 主任研究員 吉田 博和
 技 師 吉田 彩美